Q5 備前市の行政サービスと引き換えにマイナンバーカードの取得を促す取りくみをどう認識しているか。適切な対応を求めるべきでは。

備前市は無償化している保育園やこども園の保育料や学校給食費について、2023年度から世帯全員のマイナンバーカードの取得を条件とすることを通知しました。

総務部長

備前市の取り組みは、カード取得のインセンティヴ（動機付け）を付与するためのものと認識している。

すでにある行政サービスについて、カード取得を条件にすることがインセンティヴなのか。

氏平県議

総務部長

インセンティヴだと思う。一度無料化にしたからといって、ずっと無料でなければならないことはない。

ちなみに　知事もこんな発言

どこまでがんばるか。（備前市が）がんばったから全国ニュースになった

2月8日知事折衝

予算編成にあたり、2月8日共産党県議団は知事に要望書を提出し、懇談をおこないました。

その際の知事の発言は、備前市の対応を評価するものでした。

行政サービスをインセンティヴに格下げし、カード未取得者への差別的扱いでカード普及に邁進するなど許されることではありません。全国的にニュースになったのは、問題視されたためです。

その後、反対の声が拡がり、備前市はマイナンバーカード取得を条件とする方針を撤回しました。

須増県議の討論

3月17日討論をおこなう須増県議

岡山県議会2月定例会は3月17日に閉会しました。須増県議は、議案2件、発議1件、請願1件、陳情18件について委員長の報告通り決することに反対し、討論をおこないました。

新年度予算に反対する理由として、110億余りの大型投資拠点化補助金、県独自の学力テストなどが含まれること、また子どもの医療費公費負担制度での倉敷への補助率の低さ、心身障がい者医療費助成制度に精神障害者が含まれていないことなどを上げました。

また政府に対して、原発の運転期間「原則40年」規定の削除方針撤回を求める意見書提出について、自然災害の多い日本で原発を運転すること自体に危険があるうえに、老朽化した原発の運転する危険性を指摘し、陳情に賛成するよう訴えました。

□障害者呼称変更を要望する陳情について

「障害」は社会の側にある様々な障壁であり、それらを取り除いていく必要があると考えます。障害者差別解消法の施行などもそういった考え方に基づく運動の成果であることを踏まえ、名称変更はしない方が良いとの判断により反対しました。障害者に対する差別や偏見をなくす、という趣旨には賛同します。

2月議会

議案に対する各会派の*態度*　※主なものを抜粋

議案・発議	共産	民県	公明	自民	結果
令和５年度岡山県一般会計予算	×	○	○	○	○
岡山県広域水道企業団出資について	×	○	○	○	○
	○=可決　×=否決				
請願・陳情	**共産**	民県	公明	自民	結果
私学助成政策の抜本的拡充を求めることについて	○	○	×	×	×
国会に憲法改正の早期発議を求める意見書の提出に関することについて	×	×	×	○	○
政府に対して原発運転期間「原則40年」規定の削除方針の撤回を求める意見書の提出に関することについて	○	×※1	×	×	×
「世界平和統一家庭連合」の宗教法人解散命令に関することについて	○	○	×	×	×
「安保関連３文書」（国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画）に関することについて	○	×	×	×	×
障害者呼称変更を要望することについて	×	○	○	×	×
養護教諭の複数配置基準を児童生徒300人以上に引き下げることを国に対して要望することを求めることについて	○	○	×	×	×
県議会議員と県議会が「世界平和統一家庭連合」との関係を断つことを求めることについて	○	○	保	保	保
	○=採択　保=採否保留　×=不採択				

※１　大塚議員は○

No.15 最終回
やりました！議席奪還！

前回選挙の悔しさをバネに県議・岡山市北区加賀郡区の議席奪還を果たすことができました。支えていただいた大勢の皆さんの期待に応えることができるよう精一杯頑張ります。

「年金が下がり医療の負担が増え、物価は高くなるばかり」――選挙前から悲鳴の声があがっていました。「命と暮らし最優先・生業を支える政治を」と訴えました。選挙中、演説を聞いてくれた通りがかりの男性は、「チラシにはどの候補も良いこと書いてあるのに、実際は正反対なんですね」と投票を約束してくれました。これまでの党議員団の値打ちが光った選挙でした。

「戦争する国になるかもしれない」などの声もよせられました。平和のビジョンを示し、「大軍拡・大増税にノー！」と訴えました。平和でなければ暮らしは守れません。

新たな闘いがスタートします。あの議場で、知事に直接、皆さんの切実な声を届ける日も目前。ワクワクしています。